

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画はサービス担当者会議で、入居者や家族、必要時は医師も参加して検討し、入居者の状況の変化時は計画を見直している。今年5月から業務内容を改め、システム入力を開始して「ケース記録日誌」から申し送り共有する諸法で実践に活かしているが、日常の関わりで捉えた、入居者の不安や思いを介護計画に反映していない。	1入居者一人ひとりへのニーズに沿った支援が、介護計画に反映できるよう取り組む。	1モニタリングの実施。 2課題の分析。 3改善策の集約。 4医療事業者及び家族との連携の強化。 5改善策の計画的実施と再分析。 6個別援助計画として、職員一致でニーズ支援に当る。	6ヶ月
2	33	事業所は今年新たに看取りに関する指針を運営規定に加えたことを、入居者や家族に説明している。見取りに関する事業所の対応マニュアルを作成し、職員は勉強会等で共有しているが、重度化や看取りに関する入居者や家族の意向の確認には至っていない。	入居者の状況に応じて医療関係者等と連携が取れるよう、早い時期から入居者や家族の意向を確認し、要望に応じて介護計画に反映する。	看取り及び終末ケアの意向について、本人、家族から担当者会議等において、確認と検討を順次実施する。	12ヶ月
3	35	避難訓練は年2回実施し、地域との協力体制を自治会と確認中なので、今後の具体的な取り組みに期待したい。	災害時対策としての地域住民との協力体制についての連携の構築。	隣接字区の住民との災害時相互協力体制の基盤として、隣接地域に居住している複数の職員を中心に協力者として任命すると共に地域での訓練や作業に職員を派遣し協力関係を強化する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。